

# 2011年3月期 第2四半期決算説明会



2010年11月1日

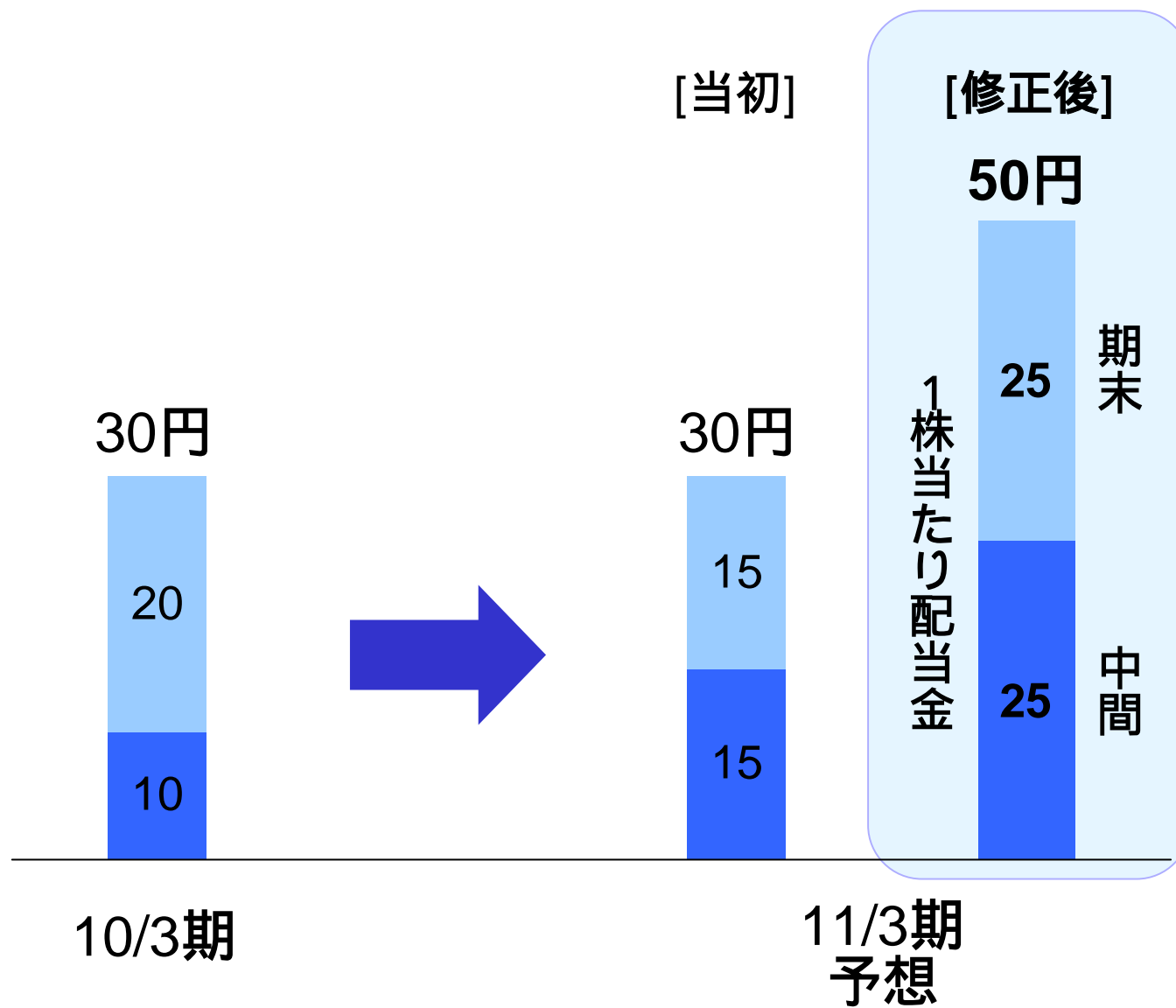
 **TOYOTA** 株式会社 豊田自動織機

# 決算サマリー

(単位:億円)

	10/3期2Q累計	11/3期2Q累計	増減	増減率
売上高	6,275	7,298	+1,023	+16.3%
営業利益	28	362	+390	-
経常利益	42	383	+341	+800.1%
当期純利益	2	236	+234	-

# 配当金



## 業績

## 通期予想

(単位:億円)

	10/3期	11/3期予想	増減	増減率	前回発表
売上高	13,777	14,800	+1,023	+7.4%	14,500
営業利益	220	650	+430	+195.4%	550
経常利益	317	700	+383	+120.4%	600
当期純利益	262	410	+672	-	330

# ・ 2010年度方針および 取り組みの状況

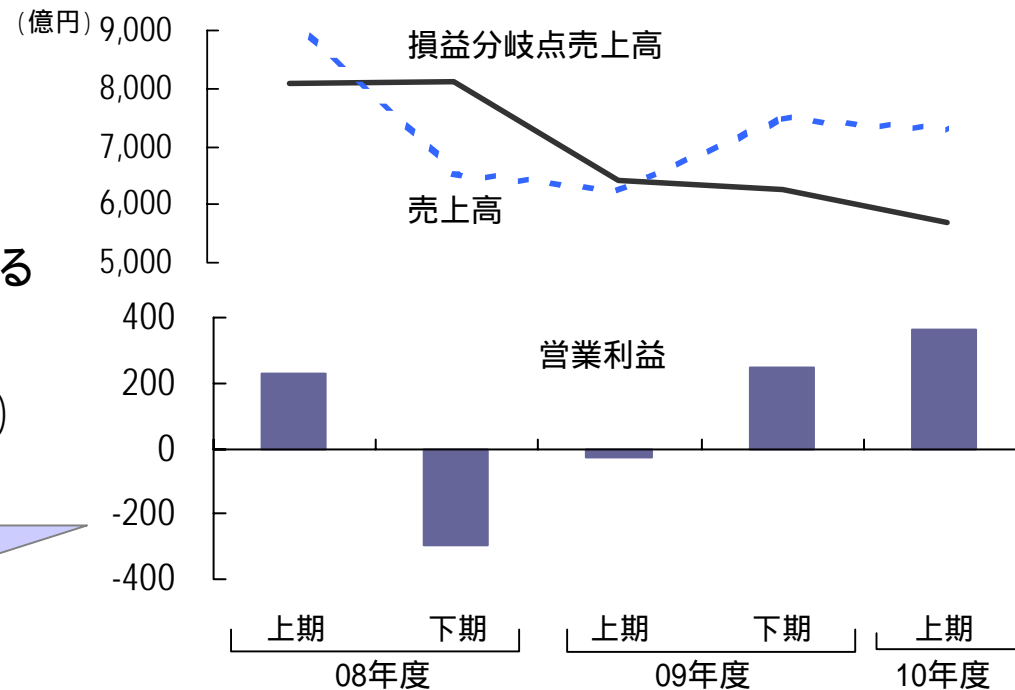
# 2010年度方針 - 守りを固めつつ、攻めに転じる -

## 構えのスリム化を維持し、企業体質強化を継続

### ・緊急収益改善活動の継続

1. 固定費の大幅削減
2. 2008年度・2009年度における  
固定資産の減損処理  
(コンプレッサー、産業車両)

守りを固めつつ、  
攻めに転じる



## 市場の変化を的確にとらえ、ビジネスチャンスを実確につかむ

1. 足元の市場の回復をとらえた拡販
2. 新興国への対応および3E (Environment, Ecology and Energy) を  
キーワードとした環境技術開発の推進

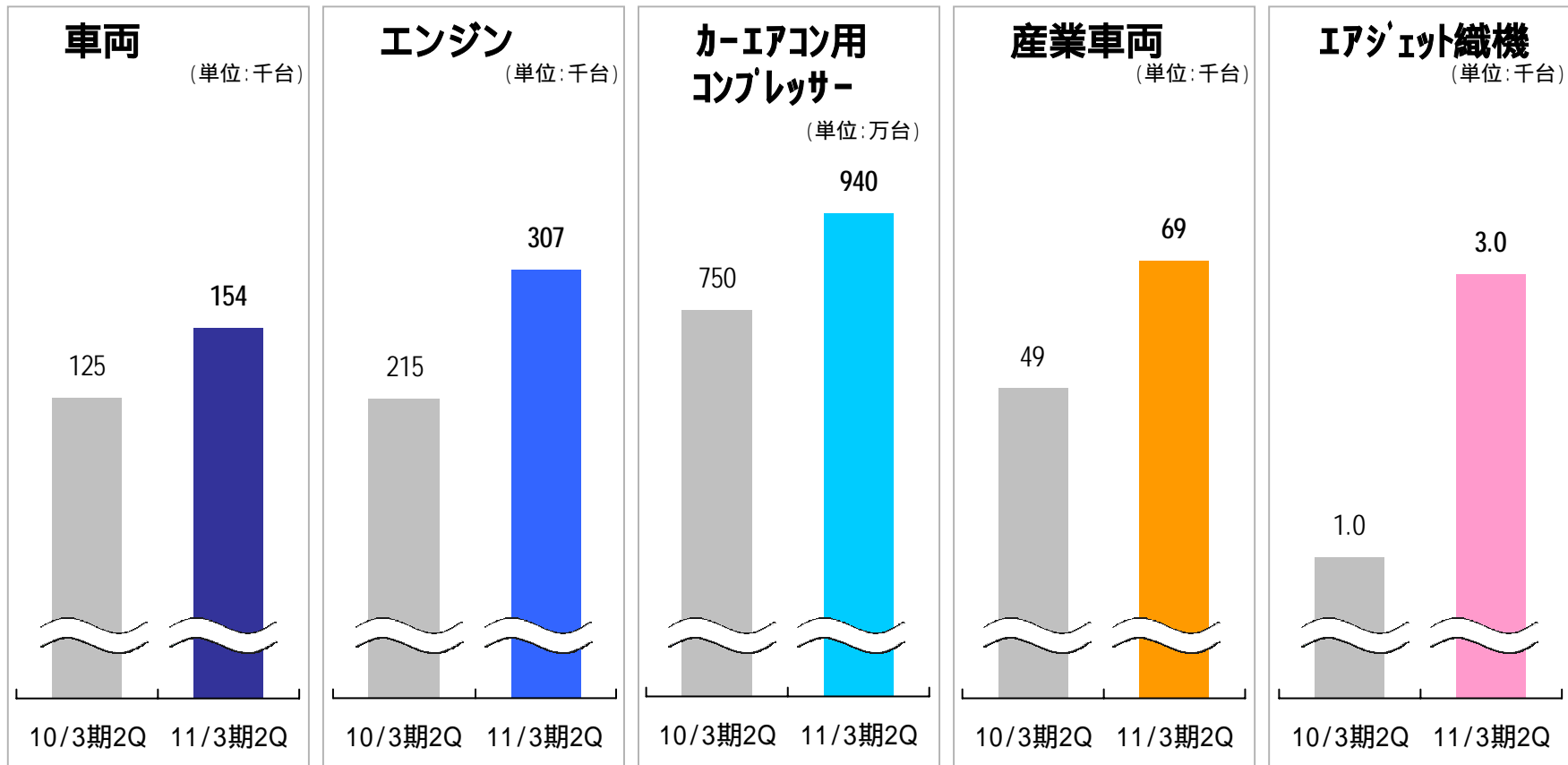
# ・ 足元の業績拡大の状況



# 事業別販売台数

足元の業績拡大

市場の回復をとらえた拡販活動により、各事業において足元の販売台数が増加



# 産業車両事業における足元の取り組み

足元の業績拡大

各市場の動きをとらえた活動により、販売台数増をねらう

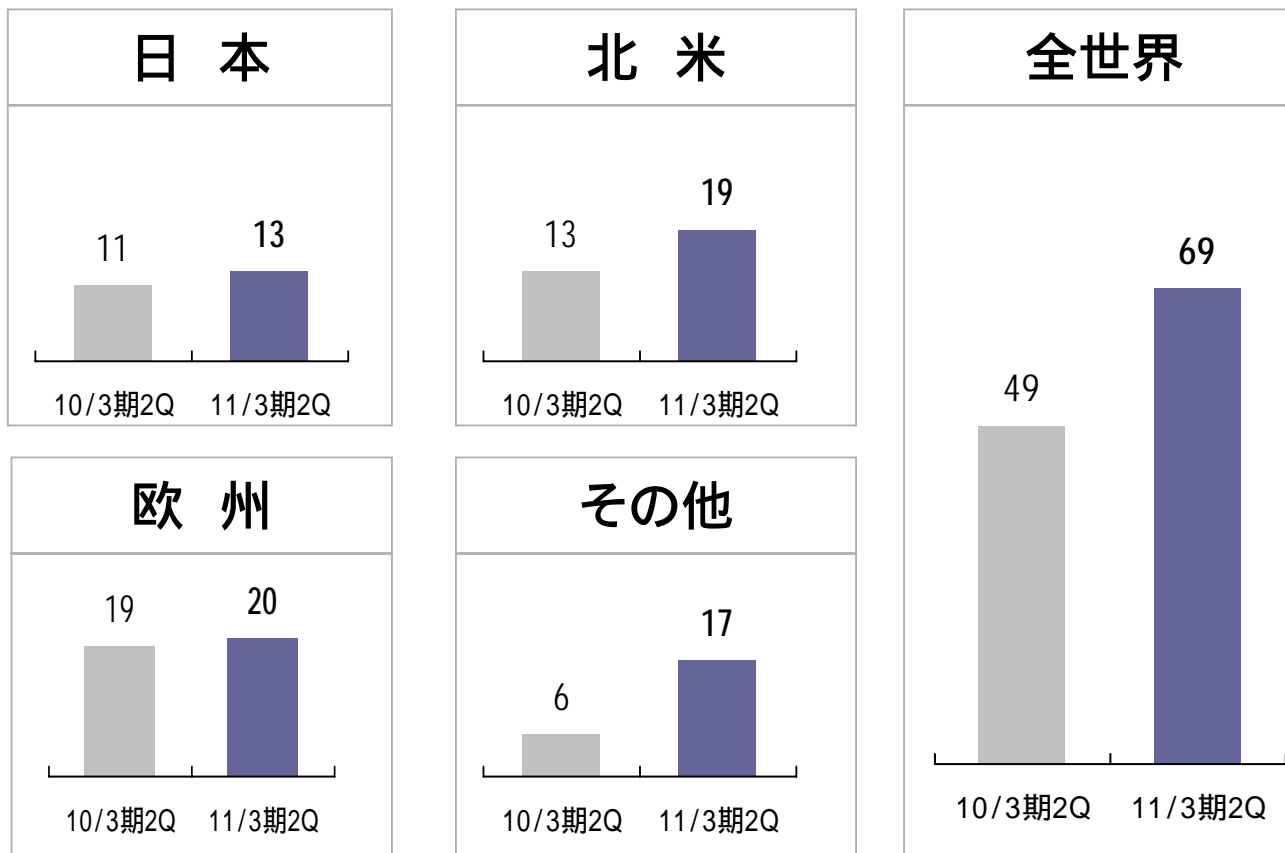
市場	当社の主な施策
日本	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 堅調業種へのさらなる拡販</li><li>・ ソリューション営業の推進</li></ul>
北米	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 生産と販売を統括する新会社TMHNA, Inc.の設立</li><li>・ 2～3トン積み新型電動フォークリフトの投入</li></ul>
欧州	<ul style="list-style-type: none"><li>・ TOYOTA/BTチャネル統合に伴うバリューチェーンの拡充・強化</li><li>・ 東欧等、新規市場販売網の強化</li></ul>
中国	<ul style="list-style-type: none"><li>・ エンジンフォークリフトの新規モデル投入</li><li>・ 販売網の拡充・強化</li></ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 新興国市場における販売網の拡充・強化 (中南米、インド、東南アジア ほか)</li></ul>

# 産業車両の販売台数状況

足元の業績拡大

各市場における回復をとらえた拡販活動および新車投入などにより、全地域で販売台数が増加

(単位:千台)



# コンプレッサー事業におけるこれまでの取り組み

足元の業績拡大

カーメーカーのニーズに合わせた新商品開発が結実

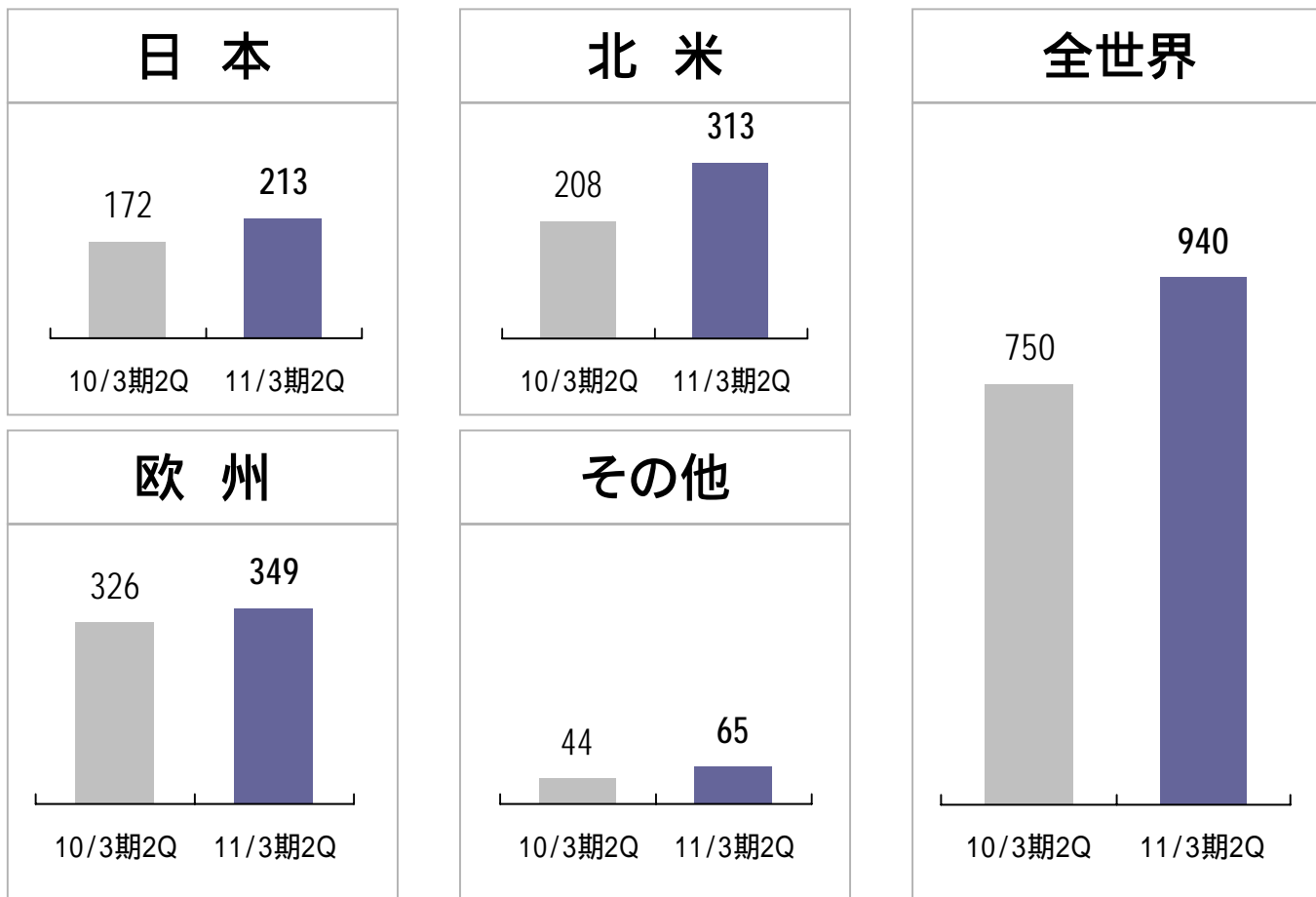
市場	当社の主な施策
日本	<ul style="list-style-type: none"><li>• 電動コンプレッサーの商品力向上およびシリーズ拡大</li><li>• 小型車向けコンプレッサーの省燃費・軽量化技術の向上</li></ul>
北米	<ul style="list-style-type: none"><li>• ビッグ3の業績回復をとらえた、技術営業による新規車種への参入</li><li>• 依然人気の高い大型車用コンプレッサーの省燃費の向上</li></ul>
欧州	<ul style="list-style-type: none"><li>• 静粛性の向上による 独高級車メーカーへの商品展開</li><li>• 省燃費技術を活かした、仏小型車メーカーへの新規参入</li></ul>
中国	<ul style="list-style-type: none"><li>• 外資系カーメーカーへの拡販活動</li></ul>

# カーエアコン用コンプレッサの販売台数状況

足元の業績拡大

自動車市場の回復および積極的な技術営業により、全地域で販売台数が増加

(単位:万台)

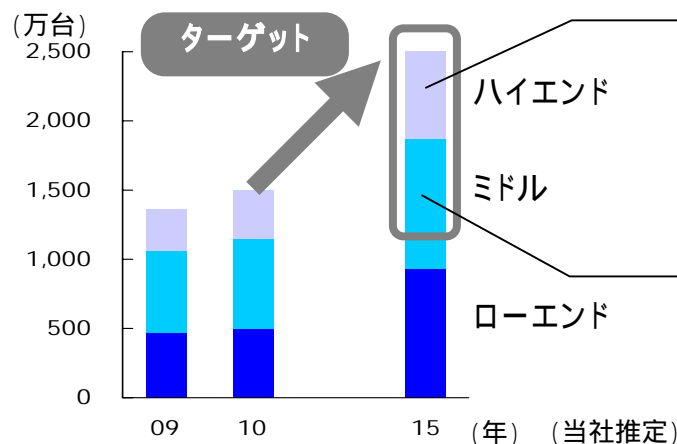


# ・ 今後の事業の取り組み

- 新興国への対応
- 3Eをキーワードとした環境技術開発の推進

### カーエアコン用コンプレッサー

中国での価格帯別自動車販売台数



#### • ハイエンド向けに技術営業を強化

- EV/HV向け電動タイプ
- エンジン車用外部可変容量タイプ

#### • ミドル向けに省燃費技術をアピール

- 小型車用コンプレッサー

現地調達率アップ、現地生産の強化、生産性効率アップ、技術サポート強化

### 産業車両

#### • 新規モデルZシリーズの投入 (2010年8月下旬)

- 現地生産、現地調達率アップ
- 仕様・機能の絞込みと品質の両立



2~3トン積み  
エンジンフォークリフト

#### • 販売網の拡充・強化

- 市場規模の大きい地域を重点に拠点を拡充・強化

### 産業車両



為替リスクの低減

受注～販売までのリードタイム短縮

各地域のニーズを的確に商品へ反映



# ・ 今後の事業の取り組み

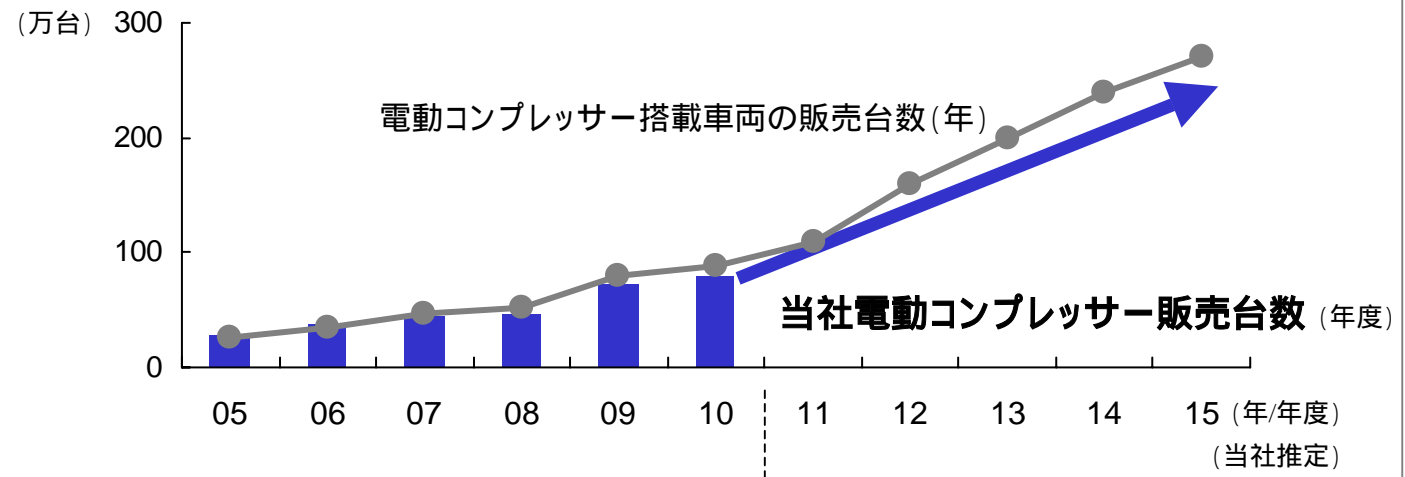
- 新興国への対応
- 3Eをキーワードとした環境技術開発の推進

# 電動コンプレッサの拡販

環境技術開発の推進

## カーエアコン用コンプレッサ

- 小型・軽量・高効率な商品の開発により、今後拡大する電動車市場を確実に囲い込む



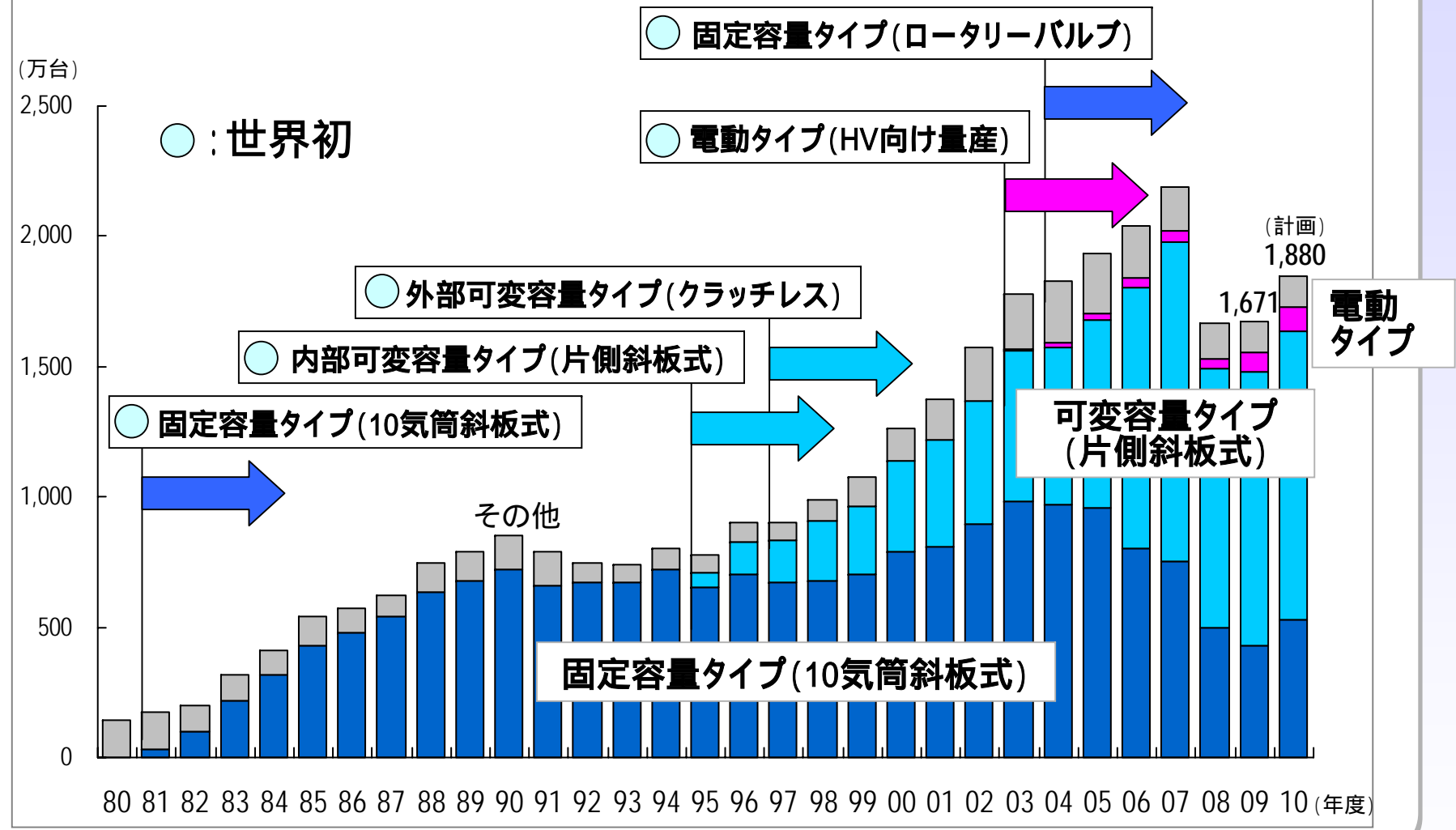
PHV・EV向け		プリウスPHV	○
HV向け	トヨタ以外	BMW VW ダイムラー	○
	トヨタ	プリウス クルーガーHV ハリアーHV エスティマHV カムリHV レクサス GS450h レクサス LS600h クラウンHV レクサス HS250h プリウス SAI	○

○ 10年度上期における拡販

# コンプレッサの技術および拡販の状況

環境技術開発の推進

## カーエアコン用コンプレッサ



### 産業車両

#### 電動フォークリフト

キーコンポーネント機能の一層の強化  
(モーター、コントローラーなど)

稼動時間、走行・荷役性能の向上

<主なお客様> 食品業、倉庫業 など

#### ディーゼルエンジンハイブリッドフォークリフト

エンジンハイブリッド車の利点が活かせる中型以上でシリーズ強化  
(3.5トン積みに加え、4.0トン、4.5トン積みを追加)

#### エンジンハイブリッドフォークリフトの利点

- エンジン車と同等の走行・荷役性能
- 燃料消費量、CO<sub>2</sub>排出量を50%低減
- 連続稼動時間が長い

(GENEO-HYBRID)



<主なお客様> 運輸業、リサイクル業、紙業、木材業 など

# ・ 決算詳細

## 業績

## 2 Q 実績

(単位:億円)

	10/3期2Q累計	11/3期2Q累計	増減	増減率
売上高	6,275	7,298	+1,023	+16.3%
営業利益	28	362	+390	-
経常利益	42	383	+341	+800.1%
当期純利益	2	236	+234	-
1株当たり 当期純利益	0円74銭	76円02銭	+75円28銭	-
1株当たり 配当金	10円	25円	+15円	-
設備投資	148	163	+15	+10.0%
減価償却費	359	299	60	16.6%

## 為替レート

U S \$	95円	89円	6円	-
ユ - 口	133円	114円	19円	-

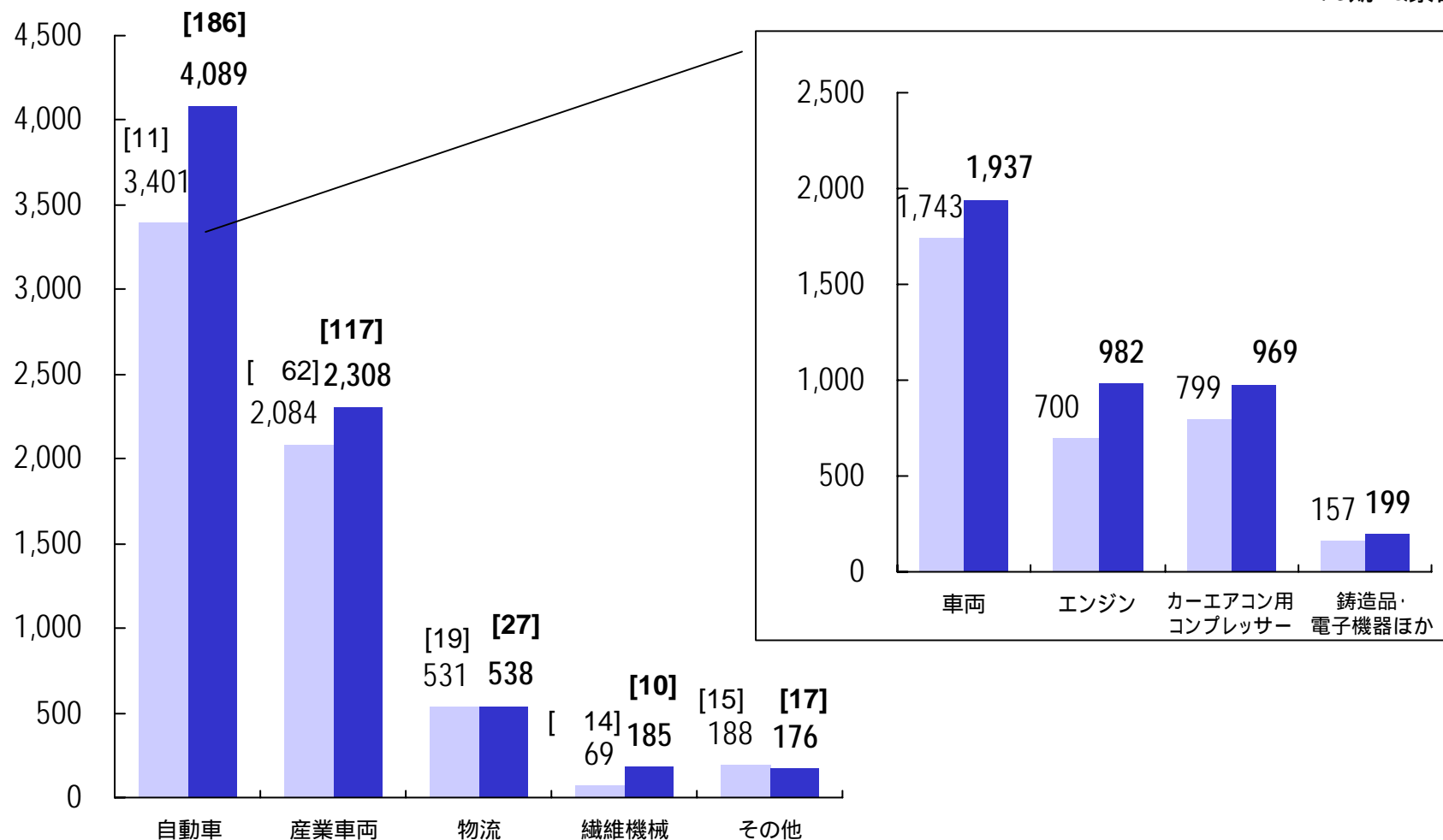
(単位:億円)

	10/3期末	11/3期2Q	増減	増減率
総資産	25,892	23,591	2,301	8.9%
純資産	11,049	9,899	1,150	10.4%
1株当たり 純資産	3,390円02銭	3,027円46銭	362円56銭	-
自己資本比率	40.8%	40.0%	-	-
連結子会社数	159社	159社	-	-

(単位:億円 [ ]内は営業利益)

■ 10/3期2Q累計  
■ 11/3期2Q累計

### ◆ 売上高





# 販売台数

2Q実績/通期予想

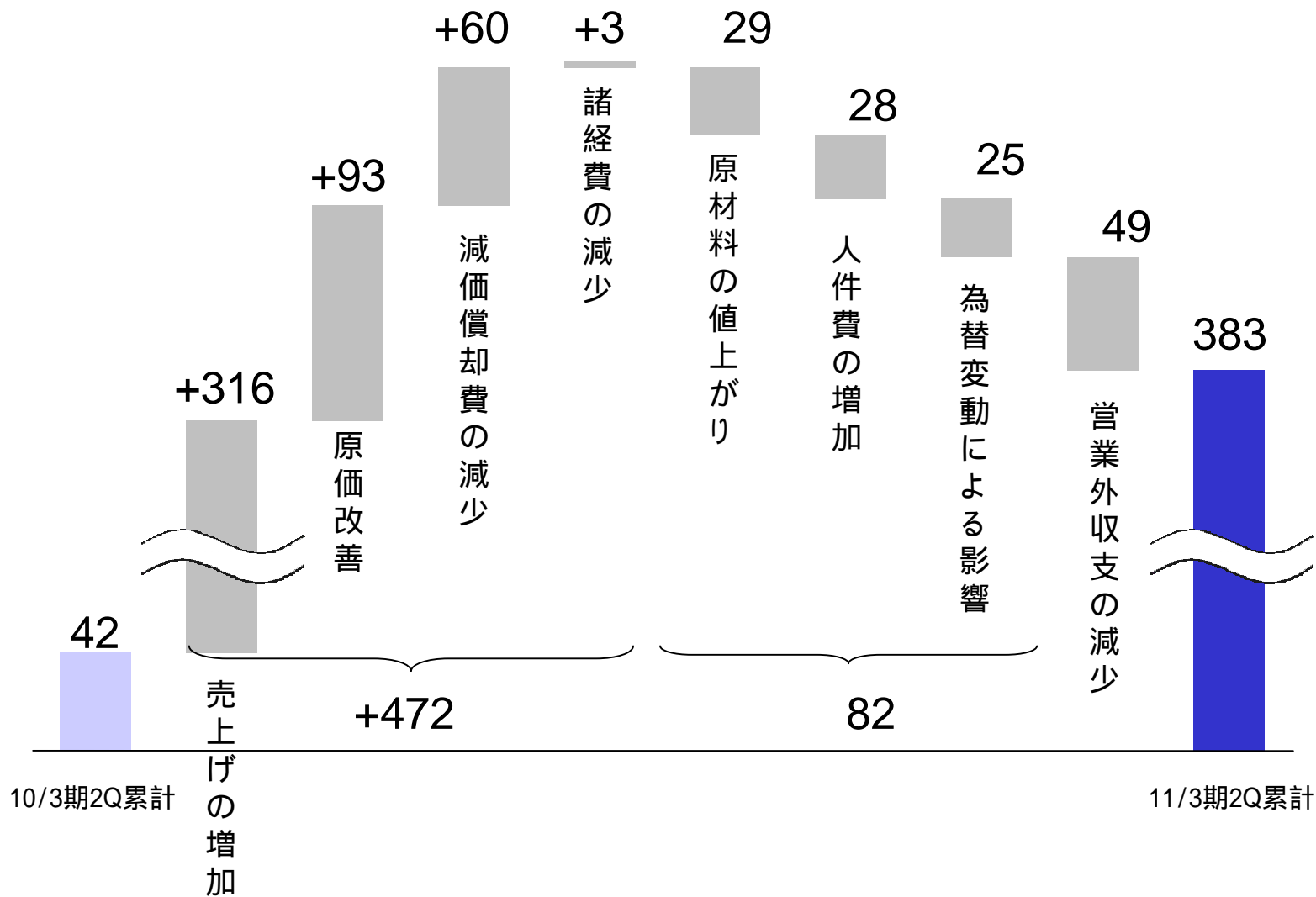
(単位:千台)

	10/3期2Q累計	11/3期2Q累計	増減	11/3期予想		
				今回修正	対前年増減	前回発表 (7/30)
ヴィッツ	61	95	+34	206	+57	197
RAV4	61	57	4	103	31	95
マークXジオ	3	2	1	6	2	5
車両計	125	154	+29	315	+24	297
ディーゼル	119	186	+67	371	+85	323
ガソリン	96	121	+25	254	+38	262
エンジン計	215	307	+92	625	+123	585
カーエアコン用 コンプレッサー	万台 750	万台 940	万台 +190	万台 1,880	万台 +209	万台 1,850
産業車両	49	69	+20	150	+39	150
エアジェット織機	1.0	3.0	+2.0	7.0	+3.7	7.0

# 経常利益の増減要因

2 Q 実績

(単位: 億円)



## 業績

## 通期予想

(単位:億円)

	10/3期	11/3期予想	増減	増減率	前回発表
売上高	13,777	14,800	+1,023	+7.4%	14,500
営業利益	220	650	+430	+195.4%	550
経常利益	317	700	+383	+120.4%	600
当期純利益	262	410	+672	-	330
1株当たり 当期純利益	84円33銭	131円59銭	+215円92銭	-	105円92銭
1株当たり 配当金	30円	50円	+20円	-	30円
設備投資	269	400	+131	+48.3%	400
減価償却費	732	640	92	12.6%	650

## 為替レート

U S \$	93円	85円	8円	-	90円
ユ - 円	131円	112円	19円	-	112円

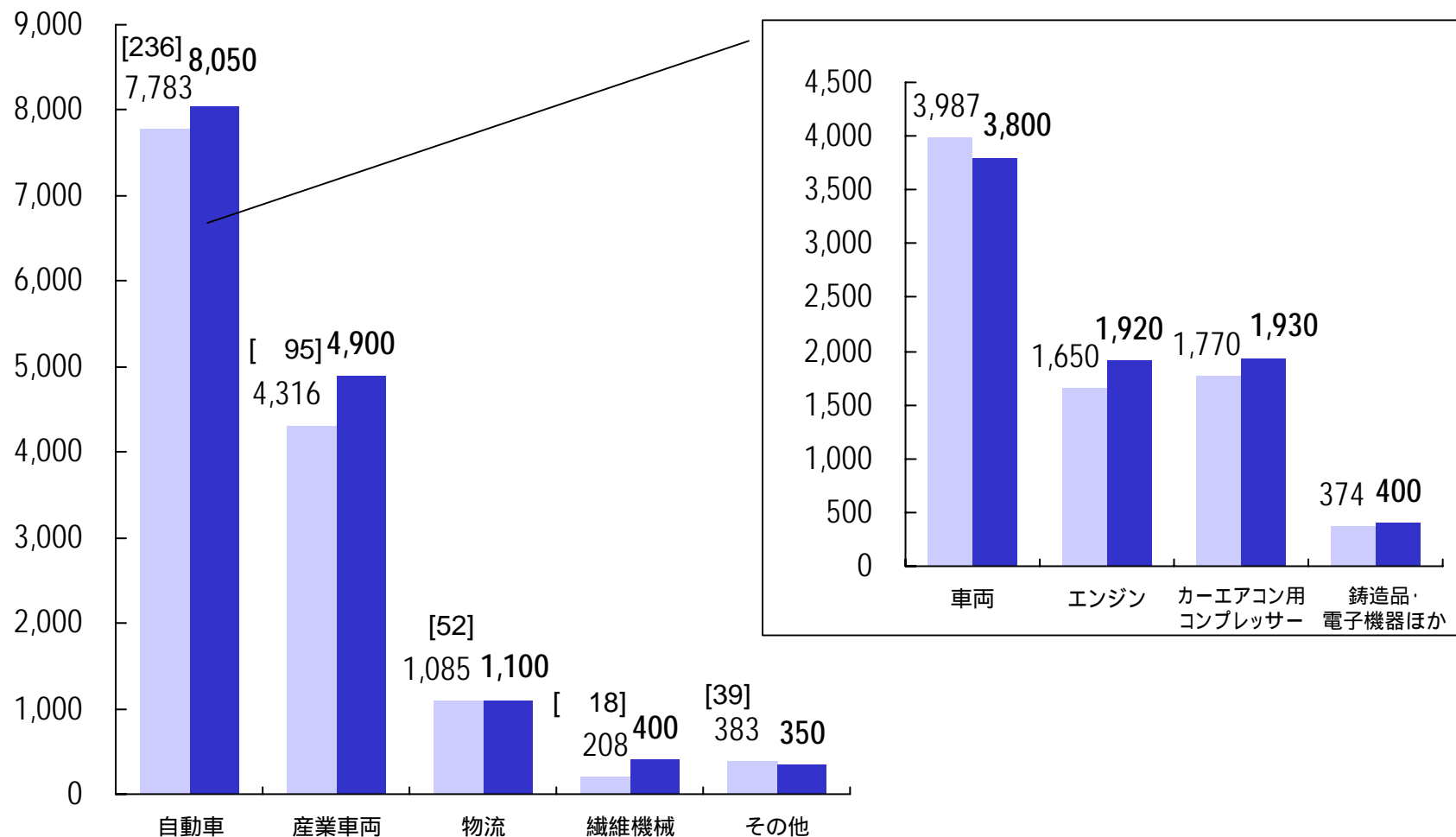
# セグメント情報

通 期 予 想

## ◆ 売上高

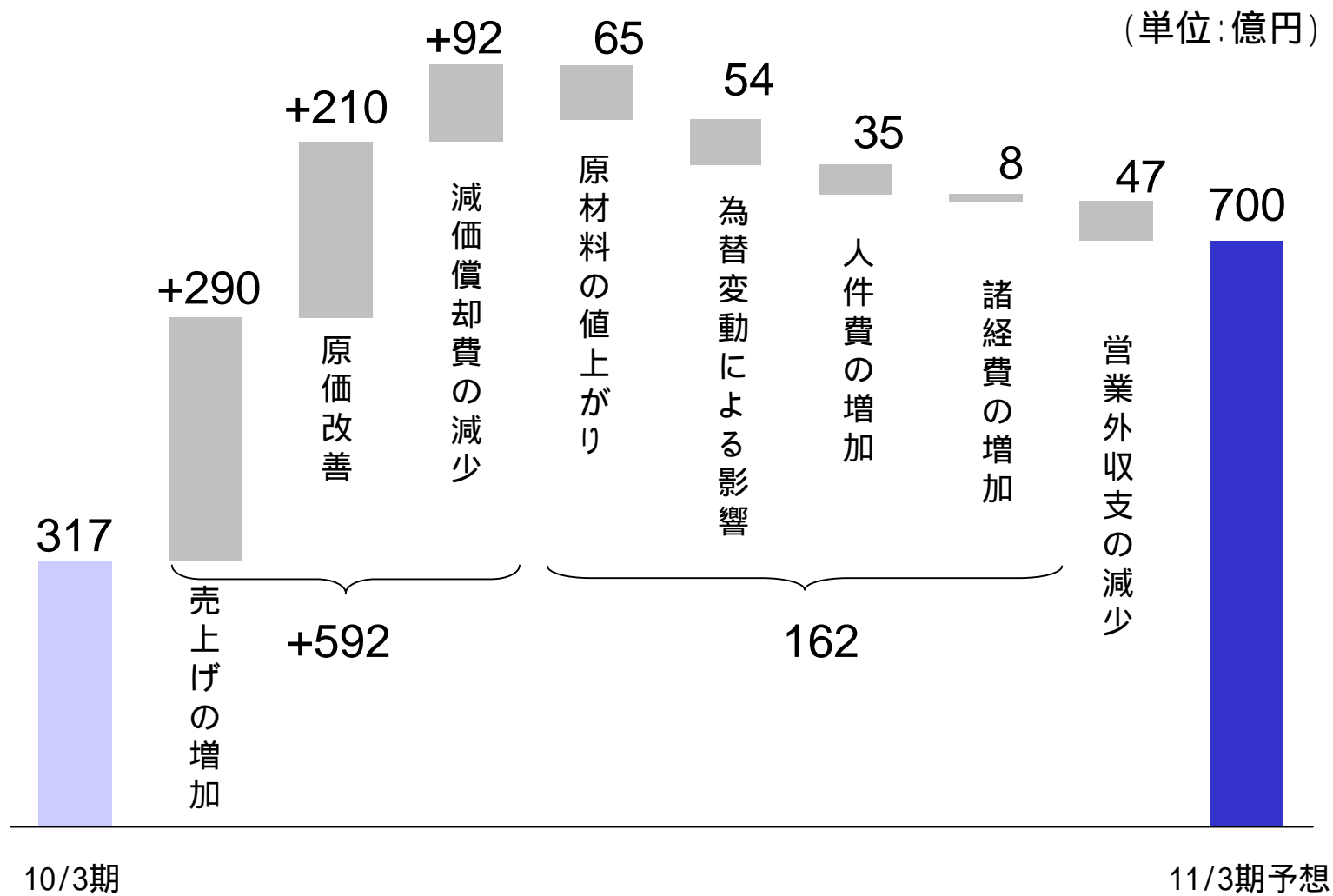
(単位:億円 [ ]内は営業利益)

10/3期  
11/3期予想



# 経常利益の増減要因

通期予想



## 将来見通しに関する記述についての注意

このプレゼンテーション資料に記載されている、当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。したがって、これらの業績見通しのみで全面的に依拠することは控えてくださいますよう、お願いいたします。

実際の業績は、さまざまなリスクや不確実性により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えるリスクや不確実性には、当社の事業を取り巻く経済情勢、さまざまな競争圧力、関連法律・法規、為替レートの変動などを含みます。

ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。